

SenTIA

Sendai
Tourism, Convention and
International
Association



写真提供：清水春花

公益財団法人
仙台観光国際協会
機関誌

vol.17

「SENDAI Bright-Nights STORY」が開催中です

今年の冬、新たな光の祭典が始まりました。杜の都仙台の象徴である定禅寺通と勾当台公園を4つのエリアに分け、それぞれバラエティーに富んだ演出を展開。最新テクノロジーも活用した新時代の幻想的な街路樹イルミネーションをお楽しみください。

開催期間：2026年1月19日(月)～2月28日(土)

点灯時間：月～木・日 18:00～21:00、金・土 18:00～22:00

実施会場：定禅寺通、勾当台公園



特集 インバウンド市場の動向レポート

データで見る仙台の観光

外国人住民の状況とSenTIAの取り組み

各事業のご紹介

国際化事業部／観光事業部／せんだい・宮城フィルムコミッション／観光地域づくり推進課／MICE事業部

「仙台インバウンドセミナー」を開催します



公益財団法人 **仙台観光国際協会**
Sendai Tourism, Convention and International Association

<https://www.senia-sendai.jp>

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-3-20 京阪仙台一番町ビル6階
TEL.022-268-6251(代) FAX.022-268-6252

インバウンド市場の 動向レポート



訪日外客数は、2025年11月時点で3,906万人(※)を超え、前年の年間記録を上回るペースで推移しています。累計でも過去最高を更新し、今後も増加が予想されます。

このような状況下、仙台空港では国際線ネットワークの拡充が進んでいます。2025年7月には仙台⇄高雄（台湾）、同年12月には仙台⇄バンコク（タイ）の直行便が新たに就航しました。

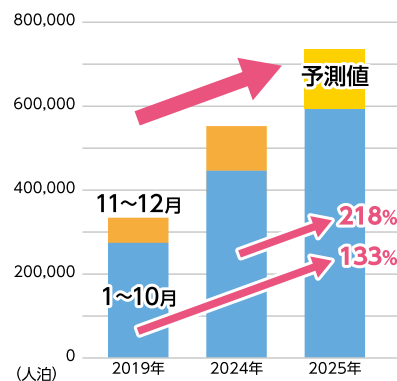
さらなる来仙客の増加が期待されるタイと台湾に焦点を当て、各市場の特徴をおさえます。

※出典：日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計2025年11月推計値

2025年の状況は？

観光庁が公表しているデータから推計した仙台市の外国人宿泊者数は、顕著な増加傾向を示しています。2025年1月から10月までの累計宿泊者数は、2019年同期比で **218%**、前年同期比で **133%** と大幅に増加しています。この勢いのまま推移した場合、**2025年の年間宿泊者数は70万人**に達すると予想され、過去最高水準となる見通しです。

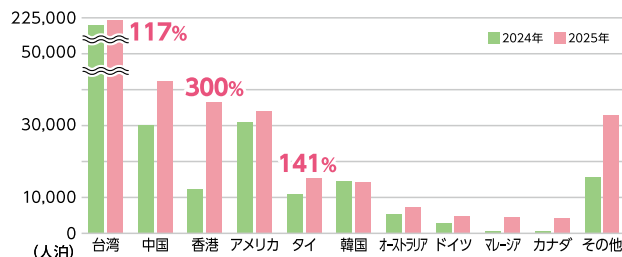
※「宿泊旅行統計調査」(観光庁) (<https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>) をもとに仙台市観光統計基礎データをSenTIA独自に推計



国・地域別に見ると、前年と比べ、2025年12月から直行便が就航した**タイは141%**、2024年12月に直行便が就航した**香港は300%**、宿泊者数が最も多い**台湾は117%**となっていました。

(補足：前年比で訪日外国人宿泊者数が大きく伸びた国・地域としては、マレーシア(855%)、カナダ(786%)、ドイツ(174%)などがあり、タイは5番目、香港は3番目、台湾は8番目の伸び率となりました。)

※出典：東北観光DMP(データ提供元：株式会社インテージ)



来仙客の増加が期待されるタイおよび台湾市場。日本政府観光局（JNTO）のマーケティング戦略からその動向を紐解くと、以下のような特徴が見られます。

1. タイ市場の傾向：新規顧客の開拓とリピーターの拡大、「四季」への強い憧れ

- 新規層とリピーター層**：海外旅行経験者の約7割が**未訪日**である一方で、**訪日旅行経験者の7割超がリピーター**となっており、潜在的な新規顧客と既存顧客の両方にアプローチが必要です。
- 主な訪日目的**：「**日本食を食べること**」、「**ショッピング**」、「**自然・景勝地観光**」、「**繁華街の街歩き**」、「**温泉入浴**」などが主要な目的です。
- 最大の魅力**：タイでは見られない**四季折々のコンテンツに対する評価が非常に高く**、特に桜、紅葉、雪などが人気です。また、若年層の女性を中心に、重ね着ファッションを楽しめる春・秋・冬への憧れも強い傾向にあります。
- 交通手段**：タイ国内での慢性的な交通渋滞の経験から、同じ左側通行の日本の交通事情は快適に映っており、信頼性の高いカーナビ付き**レンタカーでの周遊に対する関心が高く**、利用が広がっています。

2. 台湾市場の傾向：リピーター層中心と多様なアクティビティ志向

- リピーター中心の構成**：海外旅行経験者のほとんどが**訪日旅行経験者**であり、訪日旅行の**最大ボリューム層は30代女性で、同行者は家族や親族**です。また、旅行慣れしている台北などの北部の方は個人旅行が多く、比較的旅行慣れしていない高雄や台南などの南部の方は団体旅行が多い傾向です。さらに、台湾の方は地方都市への訪問に対して強い関心を持っています。
- 主な訪日目的**：「**四季折々の風景**」、「**日本食を食べること**」、「**温泉入浴**」が主要な目的です。台湾の方にも紅葉や雪が人気なことから、東北へは秋冬に訪れる機会が多いです。また、仙台近隣の、蔵王の樹氷・銀山温泉・宮城蔵王キツネ村の認知度が高いです。
- 食の傾向**：台湾は人口に占めるベジタリアン割合が世界2位のため、食の多様性に対応できる環境が整っていると好まれます。
- アクティビティへの関心**：**スポーツ志向も高く**、ジョギングやサイクリング、登山などにも興味を示す傾向が見られる他、子どもと遊べるアクティビティも人気です。

※出典：日本政府観光局（JNTO）訪日インバウンド市場別情報および第28回JNTOインバウンド旅行振興フォーラム

仙台を訪れるタイ・台湾からの来訪者について分析します

仙台に足を運ぶタイと台湾からの訪日外国人観光客が、どのようなスポットに立ち寄っているのかを移動データで見えます。表は、駅や空港、バスターミナルなどを除いた**観光スポットの上位10スポット**になります。

タイからの 訪日外国人観光客の 立ち寄りスポット TOP10

1	国分町
2	三井アウトレットパーク仙台湾・キリンビール仙台湾工場
3	仙台城跡、仙臺緑彩館、仙台市博物館
4	榴岡公園
5	仙台湾の杜水族館
6	瑞鳳殿
7	泉パークタウン・タピオ周辺
8	仙台秋保温泉
9	八木山動物公園フジサキの杜
10	イオン仙台中山周辺

※出典：東北観光DMP
(データ提供元：株式会社インテージ)

台湾からの 訪日外国人観光客の 立ち寄りスポット TOP10

1	三井アウトレットパーク仙台湾・キリンビール仙台湾工場
2	国分町
3	仙台秋保温泉
4	仙台城跡、仙臺緑彩館、仙台市博物館
5	瑞鳳殿
6	仙台湾の杜水族館
7	榴岡公園
8	仙台大観音
9	泉パークタウン・タピオ周辺
10	八木山動物公園フジサキの杜

まず、タイからの訪日外国人観光客は、日本食を食べることを目的に**国分町**へ、ショッピングを目的に**三井アウトレットパーク仙台湾**へ、自然・景勝地観光を目的に**榴岡公園**へ、繁華街の街歩きを目的に**国分町**へ、温泉入浴を目的に**仙台秋保温泉**を訪れたと考えられます。

また、台湾からの訪日外国人観光客は、四季折々の風景を目的に**榴岡公園**へ、日本食を食べることを目的に**国分町**へ、温泉入浴を目的に**仙台秋保温泉**を訪れたと考えられます。この結果は両市場が共通して持つ訪日の目的に対し、仙台がこれらのニーズに応える魅力的な観光資源を豊富にもっていることを示しているとも考えられます。

タイで開催された「第17回ビジット・ジャパンFITフェア」で耳にした訪日旅行への期待など旅行会社や来場者のリアルな声をご紹介します。



タイ在住
30代女性

自由に移動できる**レンタカー**を利用して、**桜や紅葉スポット**、**スキー場**など**家族や友人と楽しめるスポット**や、**果物狩りや餌やり体験**などの**体験型観光**ができる訪日旅行に関心があります。



現地旅行会社勤務
20代男性

12月のエアアジアXを利用した**東北ツアー**は、**ほぼ完売**の旅行会社もあります。また、**仙台の他、松島、宮城蔵王キツネ村、銀山温泉**なども**人気**です。



タイ在住
40代女性

“牛たん”や“海鮮”など**仙台ならではのグルメ**を食べてみたいです。また、タイでは健康志向がブームになりつつあるので、ヘルシーな“せり鍋”にも興味があります。

Interview

東北・北海道で旅行サービス手配業を行っている株式会社Schwellの代表取締役 菅野 忍様よりバンコク便の就航により仙台にあたる影響について、お話を伺いました。

株式会社Schwell 代表取締役 菅野 忍様

仙台市「仙台・タイ誘客促進サポートデスク」の受託事業者
「Thaisinn Express Co.,Ltd.」の仙台事務所



Q タイの日本旅行におけるトレンドについて教えてください

タイの方は、個人志向が強い傾向のため、4～6名程度の**個人旅行へとシフト**していると感じています。他に、食のクオリティと安全性の高い日本食への興味が高いです。また、動植物や四季を感じることも好きなことから東北においては、豊かな自然・温泉・花が人気です。

Q バンコク直行便の就航に伴う仙台への影響について教えてください

時間的・距離的ハードルが低くなった点はメリットだと思います。また、タイ人は**雪へのあこがれが強い**ので、降雪地帯である仙台・東北での雪のふれあいや雪遊びを体験する可能性も高いと思います。また、日本文化への興味も高いためインスタグラムでも掲載の多いレトロな雰囲気横丁も撮影スポットとして人気になると思います。ただ、長距離を歩くことが苦手なため移動手段の工夫が必要です。

Q タイからの観光客の特徴や、関心の高い日本のコンテンツを教えてください

日本食では特に蟹・フルーツ・肉・甘いものが好きで、食事スタイルとしては**ブッフェを好み**ます。また、タイでは飼育されていないペンギンの人気が高いため水族館も喜ばれると思います。温泉も好きなタイ人ですが、大浴場は苦手で、貸切風呂や露天風呂付き客室が喜ばれます。

Q 仙台市内の事業者が今後準備しておくべきことを教えてください

飲食店での**メニュー表は、写真の掲載**と英語が表記されていれば、スムーズに対応できると思います。また、タイ語や英語が話せなくてもスマホの翻訳アプリを利用すると良いと思います。

データで見る仙台の観光

仙台観光国際協会(登録DMO)では、仙台市と共同で、データに基づいた観光施策を展開するデジタルマーケティングに取り組んでいます。その中から仙台を訪れる観光客の動きやWEBサイトを軸に仙台観光を読み解きます。

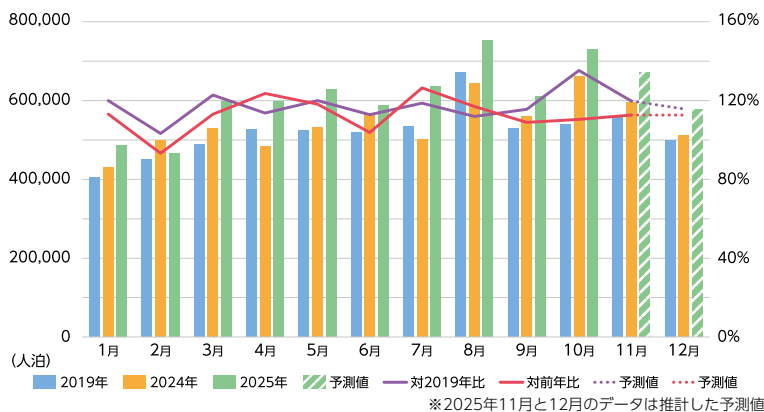


動態データ

仙台市の延べ宿泊者数 (国内外含む)

観光庁が公表しているデータから推計した仙台市の宿泊者数は、過去最高を更新した2024年をも超える数値を記録しています。この上昇傾向のまま推移したと仮定すると、年間合計予想は**前年比113%、2019年比118%**となり、**700万人を超える見込み**です。

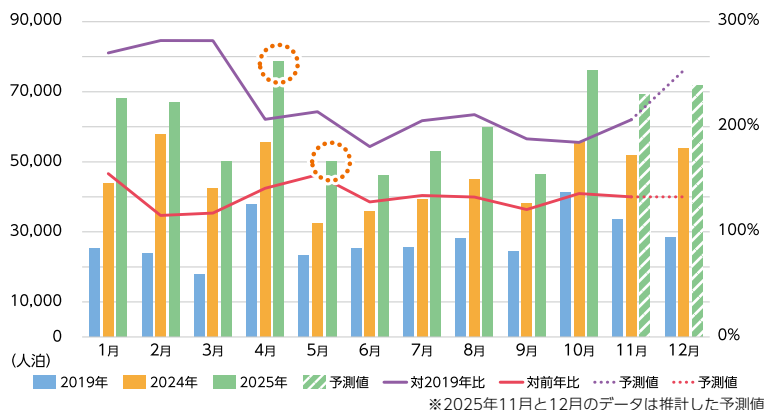
※「宿泊旅行統計調査」(観光庁) (<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>) を元に仙台市観光統計基礎データをSenTIA独自で推計



仙台市の延べ外国人宿泊者数

観光庁が公表しているデータから推計した仙台市の外国人宿泊者数は、2025年1月～10月までの各月で2024年を上回っており、特に**5月は前年比で150%、4月は前年比で140%**を超えました。また、この数値のまま推移したと仮定すると、年間合計予想は**前年比133%、2019年比220%**となり、**70万人を超える見込み**です。

※「宿泊旅行統計調査」(観光庁) (<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>) を元に仙台市観光統計基礎データをSenTIA独自で推計



アクセス分析



【せんだい旅日和】

PV数: 7,130,574(前年比113%)

1	仙台北城跡(伊達政宗公騎馬像)【スポット】
2	サンドウィッチマンがご案内 1泊2日の仙台満喫旅!【モデルコース】
3	美味しいもの【グルメ紹介】
4	仙台大観音【スポット】
5	絶景の松島・仙台を巡る旅【モデルコース】
6	秋保大滝【スポット】
7	定番! 一泊二日の仙台で行く 伊達家ゆかりの三名所【モデルコース】
8	仙台藩祖伊達政宗公霊屋 瑞鳳殿【スポット】
9	3時間で行く仙台街なか探訪【モデルコース】
10	1泊2日で行く! 仙台秋保温泉の旅【モデルコース】

上位10位のうち、モデルコースが5ページランクインされており、旅の計画をたてている様子がうかがえました。



【仙台旅先体験コレクション】

PV数: 2,423,902(前年比91%)

1	阿部蒲鉾店本店 笹かまぼこ手焼き体験
2	松島熱気球体験
3	親子でお出かけ! 体験特集
4	楽しい食品サンプル作り体験!!
5	高級ぶどう40分間食べ放題プラン 山元町産ぶどう狩り
6	酒蔵・ワイナリー見学の体験プログラム
7	ガラス工房 元
8	笹かま手焼き体験の体験プログラム
9	フルーツ狩りの体験プログラム
10	あかがねワークショップ

笹かまぼこ手焼き体験やぶどう狩りなどグルメに関する体験の他、食品サンプルやガラス工房など、ものづくり体験への関心が高かったです。



【Discover SENDAI】

PV数: 510,274(前年比88%)

	言語
1	ただいま仙台
2	松島への日帰り旅行
3	仙台市内の交通情報
4	仙台の冬の見どころ
5	仙台の冬の見どころ
6	松島への日帰り旅行
7	年間イベント
8	仙台市内の交通情報
9	仙台の冬の見どころ
10	仙台市内の人気寿司店5選

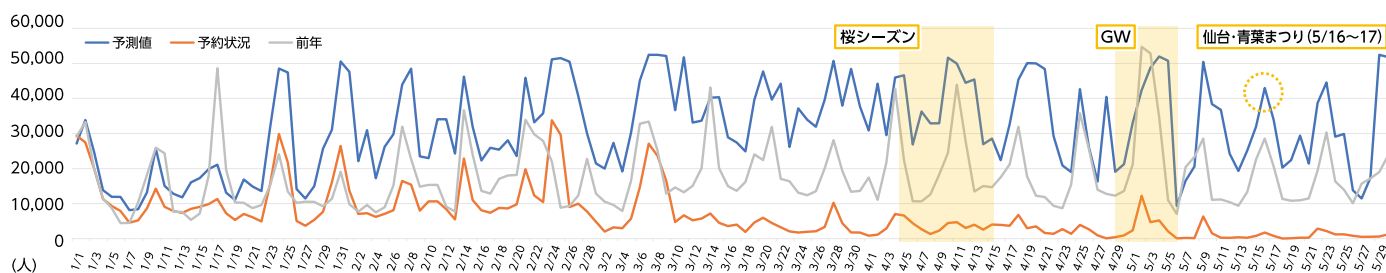
松島の日帰り旅行が2言語(繁体字・英語)、冬の見どころが3言語(繁体字・英語・タイ語)でランクインしており、海外の方が興味をもつコンテンツが集中していました。

※仙台市観光DMP(Agoop)より

2026年6月までの宿泊予報

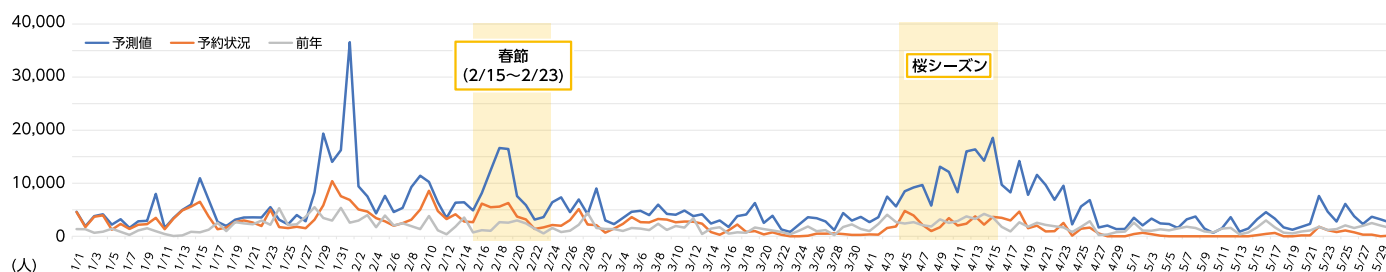
仙台市内宿泊予報（全体）

2026年1月下旬以降は、前年を上回る水準で宿泊客が増加する見込みになっています。特に、桜シーズンである4月上旬～中旬、ゴールデンウィークなどにピークが予測されています。



仙台市内宿泊予報（外国人宿泊者のみ）

2026年2月以降は、前年を上回る予測になっています。特に、今年の春節期間である2月中旬～下旬、桜シーズンである4月上旬～中旬にピークが見込まれています。



※出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

仙台観光情報WEBサイト「せんだい旅日和」がリニューアルしました！

仙台市公式の観光情報WEBサイト「せんだい旅日和」は、2026年1月28日(水)にリニューアルしました。

新しくなった「せんだい旅日和」は、仙台・宮城・東北の体験プログラムを紹介する「仙台旅先体験コレクション」と、「夜の仙台」を楽しむための情報を発信する「仙台夜時間」を統合し、仙台の観光情報を網羅した観光ポータルサイトに生まれ変わりました。新たにAIを活用したモデルコース作成やレコメンドなどの機能も搭載しています。これにより、旅行者へ体系的に観光情報を提供することで、周遊の促進や滞在時間の延長、満足度向上を目指します。

また、宿泊と体験プログラムのオンライン予約システム(OTA)と、旅行者のニーズに合わせた情報発信や仙台のファン育成を促進する顧客管理システム(CRM)も導入し、きめ細かなプロモーションの展開と新たな観光客やリピーターの獲得、持続可能な観光地域の形成を図ります。ぜひ、新しくなった「せんだい旅日和」をご活用ください。



仙台観光情報サイト
せんだい旅日和
<https://www.sentabi.jp/>



※画像はイメージです

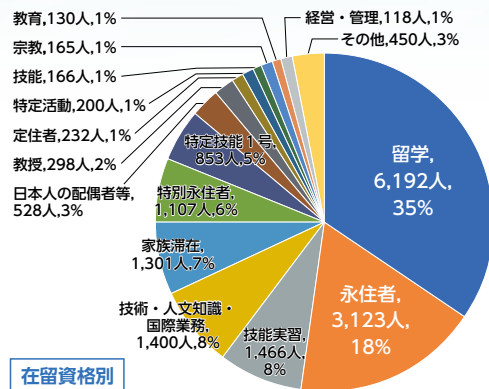
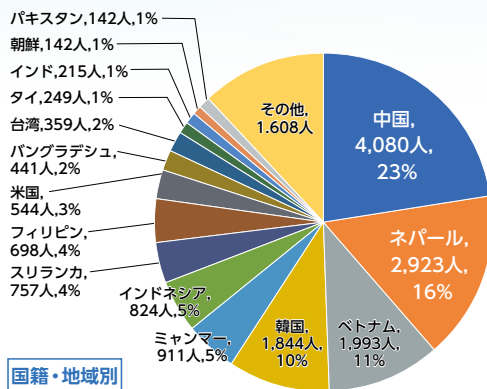
外国人住民の状況と SenTIAの取り組み

学都仙台にはたくさんの留学生が暮らしています。また、国内の少子高齢化と労働力不足に伴い、働く資格で来日している外国人も増えており、今後も増加が見込まれます。外国人住民との共生が求められる中、今回は、市内の状況と当協会の取り組みをご紹介します。

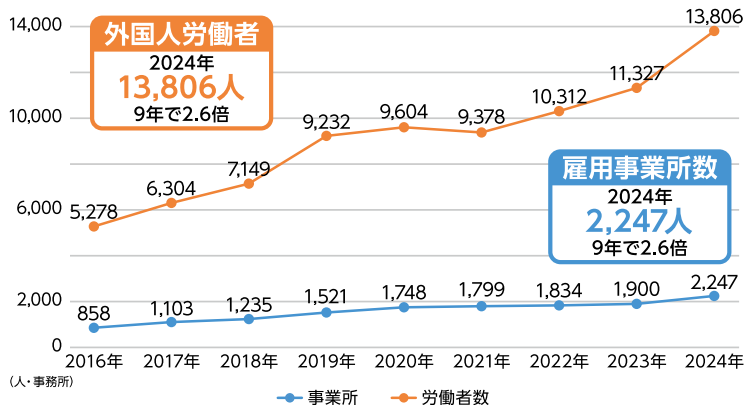
外国人住民と、働く外国人住民の状況

【仙台市の外国人住民】

人口 17,729人
(2025年4月末現在)
外国人比率 約1.6%



(出典：仙台市交流企画課)



仙台市の外国人住民数は、全国の傾向と同じくコロナ禍で一旦減少した後、2023年から再び増加に転じています。国籍・地域別ではネパール、ベトナムの他、近年ではミャンマーからの来日も増えています。在留資格別では、「留学」が35%と最も多く、次いで「永住者」が18%、そのあとに「技能実習」や「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」など就労系の在留資格が続いています。働いている外国人住民については、宮城労働局の資料によると、仙台圏（仙台市と近隣の3市3町1村）の外国人労働者数、外国人雇用事業所数が、共に2024年までの9年間で2.6倍に増えています。多くの留学生もアルバイト（資格外活動許可を受けて働いています）で様々な業種で働いており、働き手としての外国人住民が本市地域の経済にも欠かせないものになっており、多文化共生の取り組みが求められています。

SenTIA国際化事業部の取り組み

SenTIAでは、外国人住民も地域の一員として活躍できる地域づくりを目指して、次のような取り組みを行っています。

【外国人住民へのサポート】

- 教室やオンラインで日本語学習を支援
- 行政サービスや生活情報を多言語に翻訳し、発信
- ゴミ出し、交通ルール、防災などのオリエンテーションを開催
- 行政窓口や学校での手続き時に、コミュニティ通訳を派遣
- 海外から転入する子どもの就学・進学支援
- 仙台多文化共生センター（外国人住民相談窓口）を運営

【地域へのサポート】

- 外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」講座の開催
- 外国人住民支援や国際交流等を行う市民団体への助成金交付
- 地域からの相談対応、多言語資料の提供
- 外国人受入機関への協力（企業や学校など）

■外国人住民のための相談窓口

「仙台多文化共生センター（SenCUL）」
TEL：022-265-2471（P.6をご覧ください）

■仙台観光国際協会（SenTIA）国際化事業部

TEL：022-268-6260
<https://int.sentia-sendai.jp/j/>



就労外国人向け日本語教室



介護施設職員向け「やさしい日本語」講座



地域防災訓練への外国人住民の参加



各事業のご紹介



国際化事業部

TEL.022-268-6260



仙台多文化共生センターが市中心部に移転

SenTIAは、仙台市の外国人住民相談窓口「仙台多文化共生センター」を運営し、年間3,000件を超える相談等に対応しています。多言語での情報提供や生活相談等に加え、在留資格や法律など、専門機関に相談できる「外国人のための専門相談会」を開催している同センターは、昨年2月に仙台国際センター内から仙台市役所南側（青葉区国分町3-6-1仙台パークビル1階）に移転。愛称を「**SenCUL(センカル)**」としています。



<https://int.senia-sendai.jp/j/exchange/index.php>



観光事業部

TEL.022-268-9568

教育旅行における新たな自主研修プログラム「仙台城プログラム」の開発

観光事業推進課は、仙台市文化財課と共同で、「政宗が育んだ”伊達”な文化」を活かした自主研修プログラム「仙台城プログラム」の開発に取り組みしました。

このプログラムは「デジタル再生古地図」を活用した街歩きなどにより、主体的・対話的な深い学びの実現を目的としており、2025年11月には、市内中学校にて実施し、仙台の歴史や文化について学んでいただきました。

また、同月に札幌市での教育旅行説明会を開催し、北海道内16校へ集中的なセールス活動を実施しました。

今後も”仙台にしかない学び”の魅力を高め、北海道や関東圏からの教育旅行誘致に注力してまいります。



「仙台旅先体験コレクションブースin青葉山」の開催とイチ押し体験プログラムの開発



2025年は、青葉山エリアの魅力向上や周遊促進を目的に、仙臺緑彩館で週末を中心に「仙台旅先体験コレクションブースin青葉山」を開催し、仙台・宮城ならではのワークショップが楽しめる場を新たに設けました。

また、インバウンド推進室と連携し、欧米豪のミドル富裕層をターゲットとした高付加価値コンテンツの検証や、観光客誘致係とともに教育旅行向けのプログラム磨き上げとガイドブック掲載などに取り組みしました。

2026年度は、上記事業の拡充に加え、市内宿泊施設や国内旅行会社と連携したプロモーション強化、インバウンド推進室と取り組むアジア向け高付加価値プログラムの開発と販売構築など、新たな事業を予定しています。



仙台旅先体験
コレクション
ブースin青葉山



TEL: 022-302-5808 (受入環境整備課)



インバウンド推進室を設置し、訪日旅行の誘客促進と受入環境整備の強化を推進

2025年4月に「インバウンド推進室」を設置し、重点市場である台湾・タイへの新規路線就航を背景に、現地旅行博への出展や旅行会社セールス等、広域観光PRと誘客活動を強化しました。



また、事業者向けのセミナー開催やレンタカー・温泉関係の事業者へのインバウンド対応力向上支援、ガイドブックリニューアル等の受入環境整備を推進。さらに、欧米富裕層向けコンテンツ開発や外国船クルーズの受入対応等の新規事業にも着手しました。

2026年度は、上記事業の継続・拡充に加え、事業者への海外セールス支援、欧米豪プロモーションによる販路拡大、アジア向け高付加価値コンテンツ開発等を検討し、誘客のさらなる促進を図ってまいります。

関係機関と連携した仙台の物産PRの強化と伝統文化の継承を推進

2025年は、仙台・青葉まつりや首都圏・大阪での就航都市プロモーションと連動した物産展に加え、物産・銘産品紹介パンフレットを全面改訂し、お土産品の販売促進に取り組みました。さらに、オリジナル商品「仙台観光アクリルキーホルダー」を新たに企画・発売しました。

また、県・市と連携した伝統文化親子体験イベントへの協力や、こけし工人組合の協力のもと初開催した「仙台こけしフェア」を通じ、伝統文化の振興にも尽力しました。

2026年度も引き続き関係機関と連携し、仙台の物産・銘産品のPR・販路拡大、および伝統工芸の後継者育成支援を推進してまいります。



伊達銘品横丁
—仙台観光国際協会オンラインショップ—

<https://datanameihin.com/>



せんだい・宮城フィルムコミッション

TEL.022-393-8416

SenTIAに事務局を置くせんだい・宮城FCは、映像作品の誘致・ロケ支援を通じ、観光誘客と地域活性化に取り組んでいます。

2025年11月28日(金)には、多賀城市・塩竈市が舞台となった映画「兄を持ち運べるサイズに」(釜山国際映画祭出品)が公開。ロケ地マップ作成などのプロモーションを展開しロケ地への誘客を図りました。また、「推し」のロケ地を集めたロケーションガイドを賛助会員の自治体と共同制作し、首都圏でのロケ誘致活動に活用しています。さらに20年以上の活動実績を紹介する支援作品紹介サイトを大幅にリニューアルしました。

2026年度は、さらなる作品誘致を目指し、仙台ロケ支援補助などの新たな事業に取り組めます。



せんだい・宮城
フィルムコミッション

<https://www.sendaimiyagi-fc.jp/>



観光地域づくり推進課

TEL.022-268-9568



登録DMOとして観光地域づくり推進事業の取り組みを拡大

■4エリアの観光地域づくり推進事業

観光地域づくり推進事業として仙台市を4つのエリアに分け、地域事業者と連携した事業を実施しました。中心部エリアでは仙臺緑彩館にまち歩き案内所「歩いて発見 伊達なまちステーション」を開設した他、作並・定義エリアではPR動画作成、秋保と東部エリアではスタンプラリー開催に取り組みました。今後も各エリアのブランディングの確立に向けて取り組みます。

■仙台・青葉まつり有料観覧席の販売

第41回仙台・青葉まつり(2025年開催)では、前年比約2倍に席数を増やした有料観覧席を販売し、海外からの団体旅行客にも楽しんでいただきました。第42回も引き続き販売。現在、【10名以上の団体】または【SS席】の先行予約を受付中で、4月から個人向けの席を販売します。



仙台・青葉まつり有料観覧席
(昨年の様子)

■仙台市西部地区の観光振興助成と

仙台市西部地区観光地域おこし協力隊支援

2025年度の秋保・作並定義・泉西部観光振興助成金事業では計18件の事業を支援しました。また、仙台市西部地区観光地域おこし協力隊(3名)の活動支援も継続しています。

■アドベンチャーツーリズム(AT)と東北ローカルツーリズムの推進

仙台市西部地区を中心としたアドベンチャーツーリズム(AT)と、仙台を拠点に東北6県の魅力を体感する東北ローカルツーリズムを推進。

地域の魅力創出と資源の磨き上げ、周遊を促す新たな旅の価値を創出しました。



仙台市西部地区観光地域おこし協力隊
Instagram アカウント

MICE事業部

TEL.022-268-9603

ユニークベニューやサステナビリティを活用してMICE誘致を推進

■観光庁事業「ユニークベニューにおける国際会議ネットワーキング」の開催

2025年11月にユニークベニューを活用したイベントを開催し、仙臺緑彩館と閉館後の仙台市博物館を会場として、研究者や地元企業約100名にご参加いただきました。国際会議都市としての魅力と活用法を紹介し、選ばれ続ける開催地となるよう今後も地域大学等と連携して事業を進めてまいります。

■MICEにおけるサステナビリティの推進

昨年度策定した「MICEのサステナビリティに関する5か年計画」を基に、誘致力向上を目的とした研修会・ワークショップを地域の関連事業者向けに2回実施しました(第3回は2026年2月に「MICEレベルアップセミナー」として開催します)。

■海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた取り組みの推進

「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2025」やタイ・韓国・台湾等で行われたJNTO商談会に参加し、各国バイヤーへ仙台の魅力やPRしました。今年度は特に賛助会員の宿泊施設と連携し、情報発信を強化しました。これまでの取り組みにより、台湾から約600名の大手保険会社のインセンティブ旅行誘致に成功し、2025年9月に受け入れ・助成を実施しました。



<https://www.sentia-sendai.jp/conventionnavi/>



仙台市観光情報センターが移転しました

JR仙台駅構内の再開発に伴い、2025年11月27日(木)より、仙台市観光情報センターはJR仙台駅3階へ移転しました。旅行者の利便性向上を図ることを目的に、当協会にて運営する仙台市観光情報センターの他、「駅たびコンシェルジュ」、「BAGGAGE STRAGE+」の3施設が、新幹線改札口に近接したエリアに同時移転し、旅の機能が集約されました。JNTO認定外国人観光案内所(カテゴリー3)の機能も維持しつつ、今後も国内外の観光客に対し、仙台・宮城を中心とした観光情報を提供してまいります。



仙台インバウンドセミナーを開催します

お問い合わせ先：観光地域づくり推進課／022-268-9568

【開催日】2026年2月26日(木)

【会場】ホテルメトロポリタン仙台

【共催】(公財)仙台観光国際協会、仙台商工会議所、仙台空港国際化利用促進協議会

【テーマ】仙台⇄バンコク便、仙台⇄高雄便の就航を契機としたタイや台湾などのインバウンド市場拡大の可能性(仮)

第1部

セミナー

13:00~15:00

- ・DMO事業報告会
- ・有識者によるパネルディスカッション

第2部

交流会

15:10~16:30

お申込み方法等詳細は協会公式サイトよりご確認ください。

賛助会員を募集しています!

当協会では、私たちと共に観光・物産の振興及びコンベンション誘致・支援などに協力いただける賛助会員を募集しています。賛助会費は、当協会の事業を支える貴重な財源として、仙台市の交流人口拡大のため活用させていただいております。

賛助会員に関するお問い合わせ先 | 観光地域づくり推進課 TEL:022-268-9568

会員特典

- 独自に調査したコンベンション情報の提供
- 観光マップ等の月1回無料配送
- 主催セミナーのご案内
- 異業種交流会のご案内
- 会員限定マーケティングレポートの閲覧 など



SenTIA公式サイト



SenTIA賛助会員サイト



せんだい旅日和